



令和3年度
4月号

KSSVCだより

回覧

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

こんにちは！ こばやしスクールサポートボランティアセンター (KSSVC) です

新年度を迎え、次のステージに進む小・中・高校生の皆さん、新しい学年、学校での活躍を応援しています。「がんばれ！ 小林っ子！！」

さて、KSSVCは、地域等と学校が「連携・協働」して子どもたちの成長を支え、パートナーとして地域づくりを目指していく「地域学校協働活動」を推進しています。

各学校や地域での活動の広報も大切な取組のひとつで、このたよりを月1回発行しています。

今年度も、子どもたちと地域の方々が共に行う活動や、企業や事業所の方を講師に迎えた授業の様子などを紹介していきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



今月号は3月までの取組を掲載していますので、学年は旧学年です。

オオヨドカワゴロモの授業

三松小 4年生

総合的な学習の時間に「大切にしよう！ 私たちの三松」をテーマに、岩瀬川に自生する国の天然記念物「オオヨドカワゴロモ」について学習しました。

この日は、学習をより深めるために、社会教育課の井上さんに専門的な話をさせていただきました。

写真や模型を見たり、実物に触れたりしながら、オオヨドカワゴロモを守るためにはどうしたらよいかを考えていきました。



岩に張り付いた実物大模型(左)と50倍の模型(右)



オオヨドカワゴロモを守るために「川を汚さない」「ボランティアに参加する」「ポスターを作る」など、多くの考えが出されました

「夢に向かって」～先輩に学ぶ

細野中 2年生

こすもす科(小林市独自の教科)の「夢に向かって」という学習の中で、校区内にある、アクリル・樹脂・プラスチックの特注加工を専門とする「株式会社ミヤザキ」を訪問しました。

同社の山之上社長は細野中の大先輩で、6つの九州工場は全て小林市にあります。

講話と工場見学を通して、社長の誠実さと熱意、最先端の設備と技術に触れることができ、これから夢に向かって進んでいく生徒たちにとって、大変貴重な経験となりました。



山之上社長



工場内見学の様子

成長した姿を披露～学習発表会

南小 4年生

新型コロナの影響で西諸音楽大会に参加できなかったことから、今年度最後の参観日に、文化会館で、保護者に向けての学習発表会を行いました。

「プパポ」と「ソーラン節」の2曲の合唱を披露した後は、みんなで作った詩の群読も行い、発表できる喜びを噛みしめていました。

最後は、5年生での目標と、家族への感謝の気持ちを一人ずつ発表しましたが、保護者の皆さんは、子どもたちの成長を実感したことと思います。



昔の道具を体験

東方小 3、4年生

社会科の授業で、昭和初期の頃に使われていた道具「石臼、のこぎり、斧、七輪、背負いかご、みの、わらじ、炭火アイロン、がん灯、ダイヤル式電話」を実際に使ってみました。

使い方を教えてくださったのは、小林ガイドボランティア協会と社会教育課の皆さんです。現代の道具に比べ、重かったり、手間がかかったりしますが、子どもたちは、昔の人の知恵や工夫に驚きながら、体験を楽しんでいました。



シュロで作った「みの」



背負いかご



ダイヤル式の電話



おの

情報モラルについて学習

野尻中

都城警察署少年補導職員の千代盛さん、堀之内さん、スクールサポーターの山本さんをお招きし、インターネットに関するトラブル事例を見ながら、それらを回避するにはどうしたらよいか、大切なことは何かについて学習しました。

多くがスマートフォンを持っているためか、生徒たちの表情からは、正しい使い方について真剣に考えていることが伺えました。



ネット上でも「人のことを考える思いやりの心」と「自分を守るための判断力」が必要です。



手話でコミュニケーション

永久津小 5年生

手話言語条例が施行されている小林市では、小学5年生のこすもす科で手話について学習します。

この日は、小林手話サークル「木の実（このみ）会」のお二人を講師にお迎えし、耳の聞こえない人の生活や伝え合う方法を学習した後、指文字と簡単な手話での自己紹介に挑戦しました。

子どもたちは、真剣に、そして楽しく手話に触れながら、その大切さや必要性を理解していました。



あいさつの表現や動物の名前などの簡単な手話を学習しました



自分の名前の指文字を練習



自己紹介に挑戦



ボランティア募集中



学校の活動をサポート(お手伝い)して下さるボランティアを募集しています。ボランティア登録された方々は、市内の小・中学校に紹介いたします。

登録の仕方など、詳しくはKSSVC事務局へお問い合わせください。

電話:22-7912(中央公民館 社会教育課内)

<サポートの例>

- 子どもたちとの交流や遊び
- 農業や栽培
- 草刈りなどの環境整備
- 備品の修理
- 伝統工芸や伝統芸能
- 裁縫や調理実習
- 朝自習の丸つけ
- 読み聞かせ

…など、どんなことでも結構です!



調理実習のサポート



しめ縄づくりで交流



令和3年度
5月号

KSSVCだより

回覧

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

「夕顔の 苗売る声や 五月晴」 正岡子規

風薫る5月。一年の中でも過ごしやすい、さわやかな季節を迎えました。

5日は「こどもの日」ですが、国民の祝日に関する法律には「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」と書かれています。

つまり、この日の主役はもちろん子どもたちですが、お母さんに（お父さんにも）感謝の気持ちを表す日でもある、ということです。

ゴールデンウィークの最終日に、家族で、地域で、大人も子どももお互いを大切に思い、感謝する気持ちを再確認してはどうでしょうか。



今月号も3月までの取組を掲載しました。
学年は旧学年で記載しています。

ライフプランニング授業 東方中・永久津中1年生

東方中を会場に、2校合同で人生の計画を立てる体験を行いました。講師は、ソニー生命のライフプランナー5名の方々です。

4人家族という設定で、働き方や教育費、住まいなどの人生設計を描いていきましたが、欲張りすぎたのか、4グループ全ての家計が赤字に。

その後、ライフプランナーとともに改善のための工夫を考えながら、最終的には、赤字を解消しましたが、体験を通して、夢を実現させるためには、計画的に生きることも大切であることを学ぶことができました。



赤字を解消するために、働き方を変えたり、おこづかいを削ったりなど、様々な工夫をしていきました

「パラオ環野」見学 幸ヶ丘小

お別れ遠足の中で、校区内（環野地区）にある「パラオ環野」を見学しました。館長の久保松雄さんから、展示品の説明や戦争体験などをお聞きしながら、パラオの文化、日本とパラオの友好の歴史、戦争の悲惨さ、久保さんの思いを知ることができました。

久保さんの「戦争は絶対したらいかんよ」という言葉が心に響きました。（パラオ環野のホームページが開設されています。[パラオ環野で検索を](#)）



税金のしくみと役割を学習 小林小6年生

小林法人会青年部の皆さんを講師に、租税教室を開催しました。

税金の種類や役割について学んだ後、グループごとにまちづくりのテーマを決め、決められた予算で施設などのアイテムを買いながら、税金の有効な使い方を体験する「まちづくりワーク」を行いました。

学習と体験を通して、税金が自分たちの生活に大きく関わっていることを学びました。



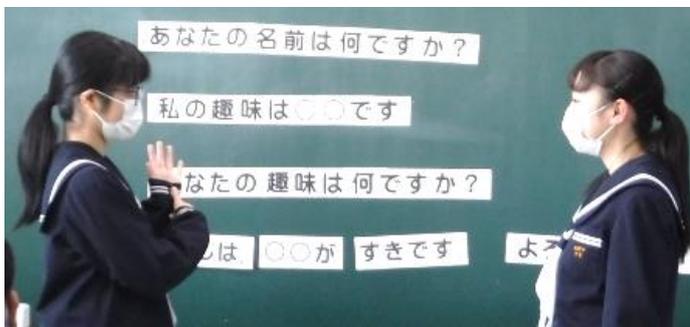
手話で表現してみよう

細野中3年生

こすもす科(小林市独自の教科)の中の「手話で表現してみよう」の授業に、手話サークル「木の実(このみ)会」から4名の方を講師としてお迎えしました。

聴覚障がいのある方の生活やコミュニケーションの種類などについて学習した後、実際に手話と指文字を使った自己紹介に挑戦しました。

木の実会の皆さんのご指導と生徒たちの積極的な取組の結果、短時間にもかかわらず、全員が手話での表現の仕方を身に付けることができました。



先輩の声を聞く会

西小林中2年生

毎年、県立高校入試の日に実施している行事です。この日は、母校の後輩たちのために、3つの学校から6名の高校生が来てくれました。

高校の特色や授業の様子、取れる資格、就職や進学のことなどの体験を通じた話は、大変参考になり、刺激にもなりました。

先輩たちの話は、残り1年間となった中学校生活に、きっと活かされることと思います。



6人の先輩たち(左側)が気持ちを込めて話してくれました

花を届ける活動

東方中

例年は、生徒たちが育てた花を地域の一人暮らしの高齢者に直接届ける形で行っていますが、コロナ禍の今年は、区長さんや地域のボランティアの方々をお願いをして届けることになりました。

直接お会いして、お話をすることはできませんでしたが、生徒たちが花に込めた思いは、お年寄りの皆さんにきっと届いたことと思います。



全校生徒で区長さんとボランティアの方々をお願いした後は、生徒たちが花を車まで運びました

紹介します



ボランティア団体

小林市ガイドボランティア協会

小林市ガイドボランティア協会は、市内の文化財(歴史・自然・風土)を児童生徒や市内外の皆さんに対してガイドを行っている団体です。(平成20年2月発足)

社会教育・生涯学習の観点から市内の文化財を活かし、児童生徒や一般の皆さんに対して郷土の歴史に愛着と関心を深めていただけるような様々な取組を行っています。現在、会員は16名です。

☆活動内容☆

- 児童生徒や市内外の一般団体への文化財ガイド
- 二原遺跡公園ガイド
- 文化財巡りバスツアーやウォークラリーの開催
- 資質向上のための自主研修

※ 会員の募集も行っています。(年会費1,500円)

問い合わせは、教育委員会社会教育課文化財グループへ(電話:0984-22-7912)



小学生へのガイドの様子



研究会の様子



令和3年度
6月号

KSSVCだより

回覧

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

6月といえば「梅雨」がまっ先に
思い浮かぶキーワードです。

今年の九州南部は、平年(5月30日)
よりも3週間近く早い梅雨入りでした。



「雨はいやだなあ」と感じることもありますが、梅雨は農業、特に稲の栽培にとって重要です。この時期にまとまった雨が降るからこそ、水田に水を張ることができ、田植え後の稲の生長を促してくれます。

田植えの時期には雨に恵まれ、稲が生育する夏は日射量が多く気温が上がり、稲穂が実る時期の空気は朝夕冷涼でやや乾燥しているという日本の気候風土が、稲の栽培に適しているそうです。

そのことを体験的に学ぶために、いくつかの学校では、この時期に田植えを行います。

子どもたちの元気な田植えの様子については来月以降に紹介していきたいと思ひます。

交通事故0を目指して ～ 交通安全教室 ～

進級や入学を迎え、新しい環境に不慣れな時期に、多くの学校では、毎年、子どもたちの交通事故0(ゼロ)を目指して、交通安全教室を開催しています。今年の実績をいくつか紹介します。



紙屋中

運動場に作られた模擬コースを自転車で運転し、横断歩道の通行、一時停止、見通しの悪い角、進路変更、急停車などを体験しながら、安全で正しい乗り方を身に付けました。

その後、先生方の指導で、交通ルールやマナー、自転車の点検項目などについても確認し、交通安全に対する意識をさらに高めました。



見通しの悪い角での運転(左)、進路変更の仕方(右)

細野小



1・2年生は横断歩道の安全な渡り方、3年生以上は自転車の安全な乗り方について学習しました。

講師は小林警察署と交通安全協会の皆さんです。

どの学年も初めにダミー人形での衝突実験で交通事故の怖さを実感しましたので、「事故には絶対に遭いたくない」という気持ちを強く持ちながら、真剣に取り組んでいました。



ダミー人形での衝突実験



右、左を確認しながら横断



自転車の安全な運転について、お手本を見ながら学習



東方中



講師は、小林警察署と交通安全協会の皆さん。

初めに体育館でDVDを視聴しながら自転車のルールを確認した後は、運動場に作られた模擬コースを使って、自転車の運転の実技を行いました。

見通しの悪い交差点での左折や駐車中の車を避けての運転などの体験を通して、「運転に集中すること」と「しっかり確認すること」が無事故につながることを再認識できました。



運転手の皆さんも、安全運転のために「運転に集中」「しっかり確認」をよろしくお願いします。

図書館オリエンテーション

野尻小 6年生

本を身近に感じ、読書意欲を高めるために、学校図書館のしくみやルールなどを学びました。案内してくださったのは、市立図書館の川野さんと図書館支援員の田原さんです。

背ラベルの意味の説明や楽しい本の紹介などに、子どもたちは興味深く聞き入っていました。

その後、1人3冊ずつ本を借りましたが、迷いながらも楽しく書架をのぞき込んでいる子どもたちの表情からは、本への興味・関心がより高まっている様子が伺えました。(このオリエンテーションは全学年で行われました。)



読み聞かせ

須木小



読み聞かせグループ「あすなる会」と市立図書館須木分館の方々が、読み聞かせを楽しみにしている子どもたちのために、早朝から集まっていたいただきました。

晩春の清々しい空気がいっぱいの教室で、子どもたちは目を輝かせながら、お話に聞き入っていました。月に2回の開催ですが、子どもたちの心を豊かにし、読書好きを増やす素晴らしい取組です。



学校支援ボランティアとの対面式

紙屋小

子どもたちの学習や生活を支援していただくボランティアの方々との顔合わせの会です。

お一人ずつから子どもたちにメッセージをいただきましたが、子どもたちは、お顔やお名前を知ることによって、親しみや感謝の心をもったことと思います。

これから1年間、ボランティアの方々と一緒に学校生活を送るためのよいスタートになりました。



お一人ずつのメッセージの後は、全員で「お願いします！」

オリンピック集会 ～とどけ 私たちの思い～

南小

東京五輪の聖火リレーで小林市のランナーを務められる元南小学校校長 福留健一さんをお招きし、児童による聖火リレー、たすきリレーを行いました。

トーチは吉井校長先生の手作りで、たすきには学年ごとに全員の夢や願いを書きました。

最後に6つのたすきとトーチを福留さんに手渡し、子どもたちの思いを託しました。



思いのこもったたすきを託された福留さん(左写真中央)当日は元気に聖火ランナーを務められました(右写真)



令和3年度
7月号

KSSVCだより

回覧

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

「読み聞かせ」を楽しみませんか

読み聞かせボランティアを募集しています

市内の小・中学校では、在校生や卒業生の保護者、地域の方々等で構成された「読み聞かせグループ」による「読み聞かせ」が定期的に行われており、子どもたちの感性や想像力の育成に貢献していただいています。



最近、メンバー不足に悩んでいるグループも多いようですが、「絵本を読みながら、私たちも力をもらっています」「目を輝かせて熱心に聞いてくれるので、嬉しいです」などの声も聞かれます。

読み聞かせボランティアを募集しているグループもありますので、子どもたちと一緒に読み聞かせを楽しみたい方は、お近くの小・中学校に問い合わせてみてはいかがでしょうか。(男女は問いません)

※ KSSVC 事務局(22-7912)に連絡いただいても結構です。(学校にご紹介いたします)

「読み聞かせ」の紹介

学校での読み聞かせの様子を紹介します

東方小

「よんみろ会」の皆さんが、毎月1回実施してくださいます。

絵本を自作したり、手あそび歌をしたり、絵本をテレビに映したりなど、メンバーの皆さんも工夫しながら楽しんでおられます。

子どもたちもとても楽しみにしていて、リラックスしながら熱心に聞いていました。



テレビに映して読み聞かせ



手あそび歌の様子



自作の絵本です



小林中



「小林子ども遊学会」の皆さんによる月に1度の実施です。多くの会員が、生徒たちが小学生の時から読み聞かせをしてくださっています。

この日のために用意してくださった民話や現代の物語、クイズなどに、生徒たちも集中して聞いたり、笑ったり、クイズに答えたりと、様々な表情で楽しんでいました。



三松中



在校生と卒業生の保護者によるボランティアの皆さんが、毎月1回実施してくださいます。

使用する絵本は、個人で準備したり、学校や市の図書館から借りたりしているそうです。

小林中と同様に、小学生の頃から同じ方々の読み聞かせに親しんでいるからでしょう、生徒たちは、熱心に、そして楽しそうに耳を傾けていました。



これからも随時、読み聞かせの紹介をしていきます

ドリームジャンボ学園

須木 中

市社会福祉協議会主催の職業学習支援事業です。第1回目のこの日は、宮崎市にお住いの元県教育長 飛田 洋さんによる「あなたのエベレストにスキップして登れ（そして手を取り合え）」と題した講演が、リモートで行われました。

「21世紀に必要な能力」や「今までになかったことにチャレンジする人が求められる」など、これからの時代を生きる中学生への熱いメッセージに、生徒たちも真剣な表情で聞き入っていました。



飛田さん宅(左上)、校長室、教室をつないで行われました



真剣な表情で講演を聞く生徒たち(写真は3年生)

清掃工場見学

西小林小 4年生

案内と説明をしてくださったのは、業務を受託している「NPO法人赤とんぼ」の谷村さんです。

家庭で分別されたごみが、どのように処理され、リサイクルされているのかなど、工場内の機械が動く様子も実際に見ながら学習しました。

清掃工場の働きやリサイクルのしくみとともに、ごみを減らすことの大切さも学びました。



谷村さん



廃プラが処理されていく様子にびっくりしていました

プール清掃 ～消防団の皆さんと

栗須小 6年生

プール開きを前に、地域の消防団員の皆さん12名に協力をいただいて清掃を行いました。

子どもたちの活動前に、底にたまっていた泥を消防ホースや高圧洗浄機で洗い流していただいたお蔭で、予定よりも早く終わることができ、放水体験もさせてもらいました。

団員の皆さんの勇姿を見て、将来、入団したいという子どもたちが増えることも願っています。



放水体験

小中合同で田植え

紙屋小5年生・紙屋中生

勤労の尊さや生産活動の喜びを知るとともに、助け合いや思いやりの心を育てることをねらいとして、小学5年生13名、中学生25名で行いました。

支援をしてくださったのは、地域コーディネーターの杉元さん、小・中PTAの役員や生活指導部の皆さんです。

協力しながら行う昔ながらの田植えを通して、小・中の連携や地域との絆がこれまで以上に深まったことと思います。



杉元さん





令和3年度
8月号

KSSVCだより

回覧

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

5月から6月にかけて子どもたちが植えたサツマイモや稲の苗が、夏の日差しをいっぱいを受けて、順調に育っているようです。

今月は、先月までに紹介できなかったサツマイモの植付けや田植えの様子を紹介から始めます。(全部を紹介できずにすみません)

サツマイモの苗植え

野尻小 1・2年生



食育の一環として、1・2年生が毎年行っている伝統行事です。支援して下さったのは、東麓地区営農組合とJAこばやしの皆さんです。

てきぱきと活動したため、予定よりも早く終わることができました。秋の収穫が楽しみです。



西小林中 2年生

技術・家庭科の「栽培」の授業です。支援して下さったのは木村農園の木村さんです。



時折、小雨のぱらつく天気でしたが、「黄金千貫」と「紅はるか」の苗を2人1組で協力しながら、1時間ほどで植え終わりました。

この後は、11月の収穫、収穫したイモを使った12月の調理実習へと、学習が繋がっていきます。



田 植 え

永久津小 5年生・永久津中学生



小学5年生10名と中学生32名が合同で行いました。準備や支援をして下さったのは、営農組合とJAこばやしの皆さんです。

特に、中学3年生は、田植えの経験が多いため手際もよく、小学生や中学1・2年生をやさしくサポートする場面も見られました。

後半、雨が降り始め、田植えらしい風景となる中、最後は、田んぼ一面に植えられた苗が、気持ちよさそうに風に揺れていました。



細野小 5年生

梅雨真ただ中ですが、この日は曇り空で、絶好の田植え日和。支援していただいたのは、細野まちづくり協議会、JAこばやし青年部の皆さん。

子どもたちは、田んぼの真ん中から二手に分かれて、「おいしくな〜れ」と願いながら、1本1本丁寧に植えていきました。

途中、恒例の泥んこタイムもあり、楽しみながら、そして、食への感謝も忘れずに取り組みました。



こんなに泥んこになるのも貴重な経験です(写真右)

議会の役割を学習 ～議場見学

三松小 6年生

社会科の授業で、市役所にある議場を見学しました。案内や説明をしてくださったのは、議会事務局の皆さんです。

「条例や予算を決める」「市の仕事が正しく行われているかを調査する」などの議会の役割を学んだ後は、マイクを通して発言をするという議会体験もできました。

最後は議長さんとも面会することができ、議会を身近に感じるよい機会にもなりました。



地域の産業について学ぶ

幸ヶ丘小 3・4年生

須木栗や柚子の特産品を加工・販売する「すき特産」で、栗と柚子の集荷場、加工場、販売所などを見学しました。

それぞれの場所でスタッフの平川さんから説明を受けながら、農家の皆さんが思いを込めて生産した栗や柚子が、加工され、製品となり、販売されるまでの過程を学習することができました。



集荷場



多くの商品が並ぶ販売所

災害時の引き渡し訓練

野尻中

災害時における生徒の安全確保と保護者・地域との連携をスムーズに行うために実施しました。

訓練は、引き渡し下校実施の決定→生徒・保護者への連絡→生徒集合・人数確認→引き渡し開始という流れで行われました。今年度は、中学校区内の2つの小学校に加え、幼稚園、保育園とも合同で行い、幼・保・小・中・保護者が連携・協働した訓練となりました。



生徒たちが待機している場所への誘導も大切な訓練です



訓練ではありましたが、生徒たちもホッとした表情で車へ

読み聞かせ

小林小 1・2・3年生

梅雨の晴れ間の爽やかな朝、1・2・3年生の教室に読み聞かせの声が響きました。

読み聞かせグループ「くすの木文庫」の皆さん方が、月に1回実施してくださいます。

コロナ禍の中、久しぶりの読み聞かせに、子どもたちはもちろん、「くすの木文庫」の皆さんも絵本の世界を楽しんでいる様子でした。





令和3年度
9月号

KSSVCだより

回覧

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

秋分の日を境に、日増しに夜の時間が長くなっていく9月。旧暦(太陰太陽歴)では、月が長く見られるとの意で、長月と呼んでいました。

月と言えば「中秋の名月」です。旧暦の8月15日の夜に見える月のことを指しますが、今年は9月21日で、ちょうど満月と重なるそうです。(ちなみに昨年の中秋の名月は10月1日で、満月は10月2日でした)

中秋の名月を愛でる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われてはいますが、忙しい現代に生きる私たちもちょっと一息ついて、夜空を見上げながら、日本に伝わる文化を楽しんでみてはいかがでしょうか。(当日、晴れることを願いましょう)



校区内の史跡巡り

西小林小 3年生

小林ガイドボランティアの皆さんの案内で、校区内にある「鬼目薬師堂」「大出水湧水池」「菅原神社」「勧請丘」「大久保小学校跡」などの史跡や名所を見学しました。

蒸し暑く、一時雨も降る天気の中でしたが、子どもたちは、身近な地域の史跡に驚いたり感心したりしながら、小林の歴史や文化について楽しく学習していました。



みどりの少年団結団式

栗須小 4年生

栗須小では、ふるさとや人を愛する豊かな心の育成を目指して、4年生がみどりの少年団を結成し、毎年、花壇の手入れ、一人一鉢運動、森林体験、募金などの活動を行っています。

結団式のこの日は、市農業振興課の高津佐さん、井出平さんから、森林の役割や宮崎の林業などのお話を聞いた後、一人一人が活動目標を発表し、団員としての決意を示しました。

最後は、全員で「みどりの少年団憲章」を朗読しながら、団としての結束を固めました。



森林などについての話を真剣に聞く子どもたち(写真右)



「ダメ。ゼッタイ。」～薬物乱用防止教室

小林中

薬物乱用の危険性を理解し、その防止について考える教室です。講師は小林保健所主任技師(薬剤師)の山口 凌さん。

「薬物依存・乱用とは」「薬物の種類と危険性」「薬物乱用に陥らないためには」という流れで、分かりやすく教えていただきましたが、生徒たちは真剣な表情で聞きながら、薬物の怖さと同時に、断る勇気を持つことの大切さを学びました。



社会人の声を聞く会

三松中 3年生

キャリア教育の一環として、7職種11名の方々にご協力をいただいて開催しました。

グループごとに、希望する職種のブースを4か所回りながら、仕事の内容、やりがい、苦勞などについて、直接お話を聞くことができました。

高校入試を控え、進路について本格的に考える時期の3年生にとって、仕事について理解し、将来の自分をイメージするよい機会となりました。



平和への思いを子どもたちへ

須木中

桂木 喬さん(90歳)を「戦争語り部」としてお迎えし、平和の大切さ、命の尊さを伝えていただきました。桂木さんは、野尻中を最後に退職された元英語の先生で、終戦時は小学6年生だったそうです。

戦中・戦後の生活や学校の様子、真珠湾で戦死したいとこの話など、平和な現代では考えられない話に、生徒たちは真摯に耳を傾けていました。

「相手を許す心があれば平和に近づきます。平和を作ろうとする人には友だちが集まってきます。」という桂木さんの言葉が心に響きました。



「株式会社ミヤザキ」を見学

南小 3年生

遠足の中で、小林市細野にある、アクリル・樹脂・プラスチックの特注加工を専門とする「株式会社ミヤザキ」を見学しました。同社の山之上社長は小林市のご出身です。

山之上社長からは「目標を決め、それに向かっていくことが大切です。」というメッセージを子どもたちに伝えていただきました。

その後、工場内を見学しましたが、日本一と言われる最先端の設備と技術を見た子どもたちの顔には、好奇心がいっぱい溢れていました。



将来の生き方を考える講演会

細野中 3年生

旭化成の延岡支社長や顧問などを歴任され、現在は県キャリア教育支援センターでトータルコーディネーターとして活躍されている水永正憲さんの講演会です。

「君たちはどう生きるか」というテーマで、「働くとは・幸せとは」「親も先生も経験したことがない未来の可能性」「勉強することの意味」などについてお話をされましたが、生徒たちは自分の将来像を描く参考にしたいと、真剣に聞き入っていました。

また、当日は区長さんや学校運営協議会の皆さんも出席されており、講演の後に、生徒たちと自由なテーマで対話する時間も設けられました。

